



【第 12 号】

平成30年1月24日

福島県小名浜港湾建設事務所

# おなはまみなと通信

【発行元】

福島県小名浜港湾建設事務所  
企画調査課

☎ 0246-53-7126

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41400a/onahama-minato.html>

## ひがしこう 小名浜港東港地区の工事は今、どれくらい進んでいるの？

### 前回のおさらい

前回、小名浜マリブリッジの先にある、人工島「小名浜港東港地区」の埋立工事について説明しました。東港地区は、

- ①輸入される石炭の増加に伴う野積場の不足
- ②大型船舶に対応した岸壁の不足

以上の大きく二つの課題を解消するため、県と国が協力して整備しており、現在は埋立工事の他、岸壁整備及び荷役機械建造などを行っています。

今回は、東港地区の工事がどれくらい進んでいるのかについて説明します。

### これまでの経過写真

平成6年度

東港地区の工事は、平成6年度から始まりました。東港地区は、まだ防波堤しかなかったのですね！  
この頃の小名浜港には、まだ5・6号ふ頭もアクアマリンふくしまありませんでした。  
まずは、外周護岸の工事から始めました。



平成22年度で外周護岸の工事は完了しましたが、締め切りは行いませんでした。東港地区の埋立を船で行うために護岸の一部をわざと空けています。

平成12年度



現在、埋立工事は、7割程度進んでいます。来年度から、石炭を運ぶための荷役機械やベルトコンベアの設置工事、石炭の野積場、臨港道路などを整備します。  
その他、港湾関連施設、緑地を整備する予定です。

平成29年度

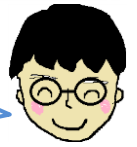
小名浜港湾建設事務所では、いわき市内のみなとの整備、管理及び運営を行っています。「おなはまみなと通信」では、小名浜港をはじめとしたいわき市内の港湾・漁港の復旧・復興状況や話題などみなとに関する情報を発信します。

※おなはまみなと通信は、当事務所のホームページからもご覧いただけます QRコードはこちらです



当所では月に1度程度ドローンによる空撮を実施しています！

平成29年度から福島県土木部では、災害対応や日常の維持管理、情報発信などに活用するためドローンを導入しました。  
 小名浜港湾建設事務所では、これまで5回のドローン空撮を実施しました。今回は、その中から3箇所の空撮についてご紹介します。



小名浜港3号ふ頭から

3号ふ頭地区には、アクアマリンパークと小名浜マリブリッジの間に新たな緑地を整備する計画があり、今年度、多目的広場兼臨時駐車場の整備に着手しました。



平成29年11月10日

小名浜港藤原ふ頭から

小名浜港藤原ふ頭には、日本クルーズ客船所有の「ぱしふいっくびいなす」が寄港しました。同船が小名浜港に寄港するのは10年ぶりになります。



平成29年11月17日

四倉漁港海岸から

四倉漁港海岸は平成23年の東日本大震災で被災しましたが、復旧工事により離岸堤、海岸堤防が完成し、現在、境川水門（いわき市）と防災緑地（いわき建設事務所）の整備が行われております。



平成29年12月8日

編集後記

今回は、東港地区の整備状況とドローンによる空撮の特集でした。  
 2回目となる東港特集ですが、皆さん東港について少しはご理解いただけたでしょうか？  
 次回は、東港地区整備の目的について少し詳しく説明していこうと思います。  
 毎週日曜日に開催している小名浜マリブリッジの歩道の一般開放については、これまでのべ23,706名の方が訪れました。  
 3月まで実施しますので是非、この機会に小名浜港に来てみてはいかがでしょうか？



かじはら君